様式第１号（第１０条関係）

２０２４年度業務実績報告書

提出日　2024 年　12 月　25 日

１．職名・氏名　准教授・今井拓哉

２．学位　学位　博士　、専門分野　理学　、授与機関　金沢大学、授与年　2019 年

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 恐竜学（2 単位）、地学概論（2 単位）、生物科学（2 単位）、実践恐竜学（2 単位）、古脊椎動物学実習（2 単位）
②　内容・ねらい 地学・古生物学の知識を通し、考える力、観察する力を磨く。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 専門的な知識だけでなく、身の回りで観察・体験できる物事に関連付けられるよう講義内容を工夫した。また、それぞれの講義で得た知識を学生が自身の専門分野に紐づけられるよう心がけた。 【フィールドワーク等　2 件】
(2)その他の教育活動
内容 1.　福井県立恐竜博物館研究員を兼務し、博物館での教育普及活動を行っている。 2.　地域連携研究の一環として、バーチャル技術を活用した理科教育の実践を進めている（国立京都教育大学付属小中学校などとの連携事業）。 3.　白山市手取層群化石調査団員として、同市内における発掘の指導や立ち合いを行っている。

４．研究業績

(1)研究業績の公表

① 著書

1. 東洋一，今井拓哉，河部壮一郎，柴田正輝，服部創紀. 2024. グレゴリー・ポール翼竜事典. 共立出版. 東京. 212p.（監訳・訳）.
2. 東洋一，服部創紀，今井拓哉，河部壮一郎，柴田正輝. 2024. グレゴリー・ポール海竜事典. 共立出版. 東京. 264p.（訳）.

【2 本】

② 学術論文（査読あり）

1. Nozomu Oyama, Hirokazu Yukawa, Takuya Imai, Yoichi Azuma. 2024. Insect-Bearing Horizon of the Upper Cretaceous Omichidani Formation (Katsuyama, Fukui, Japan): A Short Report. Paleontological Research 28: 10.2517/pr230025.

【1 本】

③ その他論文（査読なし）

【0 本】

④ 学会発表等

1. 陣内香苗，柴田正輝，今井拓哉，WOODRUFF, Cary. 2024.1. 上部白亜系ジュディスリバー層（モンタナ州）から産出した“ミイラ化”した Brachylophosaurus canadensis の予察的研究. 日本古生物学会第 173 回例会.
2. 築地祐太，柴田正輝，河部壮一郎，今井拓哉，東 洋一. 2024.1. 下部白亜系手取層群北谷層から産出した新たな鳥脚類足印. 日本古生物学会第 173 回例会.
3. 安里開士，中山健太朗，今井拓哉. 2024.6. 恐竜はどんな色彩の二枚貝を見ていたのか：手取層群産淡水性二枚貝類の事例. 日本古生物学会 2024 年年会.
4. 幸地 佑，河部壮一郎，今井拓哉，柴田正輝，星野真人，上杉健太朗. 2024.6. イグアノドン類（鳥脚類）上顎における歯への栄養供給経路の解析. 日本古生物学会 2024 年年会.
5. 今井拓哉，服部創紀，河部壮一郎，柴田正輝，東 洋一. 2024.6. 手取層群北谷層から産出した，Paraves の前肢骨化石. 日本古生物学会 2024 年年会.

【5 件】

⑤ その他の公表実績

1. *今井拓哉. シンクロトロン放射光で，壊さずに恐竜の骨化石内部の微細構造を明らかにする！：SPring-8 での新たな試み. Isotope News 791: 18-22.
2. *今井拓哉. 恐竜化石の内部微細組織を非破壊で可視化する. SPring-8 持続可能な未来へ 2024: 5.
3. *Takuya Imai. 2024. Investigating the micro-scale structures of macro-scale dinosaur bones using synchrotron radiation-based X-ray micro-tomography. SPring-8/SACLA Research Frontiers 2023: 44-45.

【3 本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

[学内]

[学外]

1. 絶滅恐竜類の社会性形成における、鳴き声による種内意思疎通の評価. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C).（研究担当者）. 4,680 千円.

(3)特許等取得

⑷学会活動等
1.　アジア恐竜協会事務局．事務局員. 2016～現在に至る. 2.　古生物学若手のための会．幹事. 2018～現在に至る. 3.　白山市手取層群化石調査団．団員. 2019～現在に至る. 4.　日本古生物学会広報幹事. 2022～現在に至る.

５．地域・社会貢献活動

1. 福井県立恐竜博物館．研究員. 2019～現在に至る.
2. 地球科学可視化技術研究所恐竜技術研究ラボ．客員研究員. 2020.～現在に至る.
3. 株式会社恐竜総研．技術部長. 2021.～現在に至る.
4. 2024.1．タイムカプセルが語る北陸. トランヴェール. JR 東日本．取材協力.
5. 2024.2.「恐竜」．小学館の探究楽習® オンライン講座．小学館集英社プロダクション．講師.
6. 2024.3．北陸新幹線延伸記念！福井県立大学恐竜学研究所監修VR恐竜研究体験． 一般社団法人東京ステーションシティ運営協議会．監修.
7. 2024.7．アルバータ州の恐竜．バッドランドの恐竜たち｜福井県立恐竜博物館 令和６年度特別展.「バッドランドの恐竜たち」実行委員会．通訳.
8. 2024.8． 恐竜王国の最新研究から解き明かす、恐竜進化の謎!．早稲田大学オープンカレッジ．早稲田大学エクステンションセンター．講師
9. 2024.9．ユタのバッドランドに眠る後期ジュラ紀の恐竜．バッドランドの恐竜たち｜福井県立恐竜博物館 令和 6 年度特別展.「バッドランドの恐竜たち」実行委員会．通訳.
10. 2024.10．第二回ダイナソーベースファンコミュニティーイベント．恐竜専門店ダイナソーベース．講師.
11. 2024.10．恐竜王国･福井の最新研究事情．Science Portal．国立研究開発法人科学技術振興機構．取材協力.
12. 2024.10．バーチャル技術で学んで楽しむ未来の恐竜学．サイエンスアゴラ 2024．福井県立大学恐竜学研究所･JST-RISTEX．企画･講師.
13. 2024.11．鳥は恐竜と共に生きていた―北陸の化石鳥類研究を添えて．加賀市鴨池観察館開館 40 周年記念講演会．加賀市鴨池観察館開館．講師.
14. 2024.12．福井が最先端：バーチャル恐竜学．福井ライフ･アカデミー共催講座．敦賀市生涯学習課．講師.
15. 2024.12．バーチャル技術を活用した古生物学．GROW! SEIRYO PROGRAMS．星稜高等学校．講師.

６．大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

恐竜学部（仮称）設置 PT．委員. 2021～現在に至る.
情報教育・ＤＸ委員会. 2023~現在に至る.

(3)学内行事への参加

1. 2024.8．福井県立大学オープンキャンパス．講師.
2. 2024.12．恐竜学部開設記念セミナー「モンタナ州エッグマウンテンでの恐竜発掘」．企画.

(4)その他、自発的活動など

1. 2024.3. VR 恐竜研究体験．制作.
2. 2024.7. VR 恐竜展システム -福井恐竜編-．制作.